

釧路市授業マイスター 「釧路市が目指す授業」実践レポート



景雲中学校の所桂太郎先生は、中学校2年の保健体育の授業で、目標を「ネットを越えてきたボールを、正確に味方につなぐためのポイントを考え、チーム内で伝えあうことができる」と設定しました。前時の生徒のよい動きをしている動画を共有した上で運動するように促すことで、ボールを正確に味方につなぐためにはどうすればよいのかに気付けるよう促していました。

美原中学校の柴田敬祥先生は、中学校2年の理科の授業で、目標を「空気中に水蒸気が存在していることを証明する実験を通して、水蒸気が温度によって水滴となって表れることに気付き、雲が上空にできることへの課題意識を持つことができる」と設定しました。課題解決のためにどのような実験をすればよいのか自分たちなりに計画を立てて、実験してその結果を考察するよう促していました。

事後研後に行われた授業マイスター交流会では、授業の目標達成に向かう授業にするためには、次の手立てを講じることが重要と確認されました。

- ① 所桂太郎先生の授業では、単元とのかかわりを考えながら、本時で焦点化する学習内容を決めること。
- ② 柴田敬祥先生の授業では、課題意識を高め、自分たちなりに考えられるよう働きかけること。



釧路市授業マイスターの授業実践は、左のQRコードからご視聴いただけます。

また、右のQRコードの「釧路市授業交流クラスルーム」では、日常の授業づくりに関わる質問等を随時お寄せいただいております。皆様からの投稿をお待ちしております。

